

# 第1回雲南市環境会議

～未来を創る子供たちへ、

今知ってほしい雲南市の自然～



写真提供:雲南市教育委員会文化財課

ドライブシミュレーターによる  
エコドライブ無料体験あり！！  
※小学生から体験できます。(1回約15分)

## 【記念講演】

11月11日(日)10時～ 雲南市役所本庁舎5階全員協議会室  
「コウノトリ講演会」(※要事前申込み)  
講師:兵庫県立コウノトリの郷公園 園長 山岸 哲 氏

☆以下の日程でエコに関するパネル展を開催！☆

日時 平成30年11月10日(土)10時～17時  
11日(日) 9時～15時

場所 雲南市役所本庁1階多目的ホールほか

雲南市市民環境部環境政策課

電話 0854-40-1033

# 雲南市環境基本計画

第2次

概要版

2018(平成30)年度 ~ 2027(平成39)年度

~ときを越え水と緑と人が育むエコシティ・雲南~

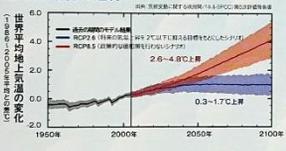
## 背景

### 世界・国内で起きていること

私たちを取りまく環境において、世界をみると化石燃料の使用を主な要因として地球温暖化が進行しています。国内では、東日本大震災を機に、原発や大規模集中型エネルギーのあり方を見直す契機となりました。また、少子高齢化や都市圏への人口集中は、地方を維持していく担い手不足に直面しています。

世界

### 地球温暖化の進行



### 懸念されること(例)

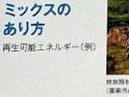


1

喫緊に迫られている地球温暖化対策

国内

### エネルギーミックスのあり方



### 再生可能エネルギーの活用や地域分散型エネルギー供給へのニーズの高まり

再生可能エネルギーの活用や地域分散型エネルギー供給へのニーズの高まり

2

再生可能エネルギーの活用や地域分散型エネルギー供給へのニーズの高まり

### 地域を維持していく担い手の不足

全国1799の市町村のうち、896の自治体が消滅する可能性のある都市と推計(日本国共生社会 人口減少対策検討分科会資料) 全国消滅可能性都市 2018年の2020年以降に、20~30歳の若年人口が0.5%以下に減少する市町村

### 地域の担い手を確保していく必要性



3

地域の担い手を確保していく必要性

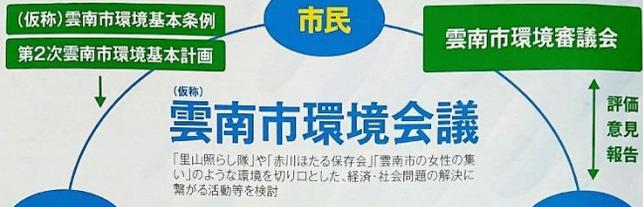
### 雲南市において押さえるべき視点

上記の1~3をふまえて、私たちの暮らす雲南市の環境を良くしていくには、これらを同時にとらえ、「Think globally act locally」(地球規模で考え、足元から取り組む)の考え方のもと、環境活動により、人口減少や少子高齢化など地域が抱える課題の解決にも繋げていく視点が必要です。

## 計画策定の目的

上記のような地球規模での課題や国内での課題を見据えながら、雲南のものついでで美しい農村をこれからも守り伝えていくために、めざす環境像「ときを越え水と緑と人が育むエコシティ・雲南」をテーマに、市民や事業者、行政が一体となって、環境を改善するための指針として「第2次雲南市環境基本計画」を策定します。

## 計画の推進体制



**市民**  
雲南市環境審議会

**(仮称)雲南市環境会議**  
「里山照らし隊」や「赤川はたる保存会」が雲南市の女性の集いのような環境を切り口とした、経済・社会問題の解決に繋がる活動を検討

**事業者**  
(仮称)雲南市環境会議の設置  
第2次雲南市環境基本計画では、「(仮称)雲南市環境会議」の設置を盛り込みました。これは、法例に基づき市の附属機関でなく、自由な意見交換によって環境イベント等の計画、実行、発信、担い手育成などを行う組織です。

**行政**  
評価意見報告

**この計画はみんなで進めていきます!**  
雲南市がめざす「ときを越え水と緑と人が育むエコシティ・雲南」の実現に向け、市民・事業者・行政が互いの役割を理解し、互いに協力しながら行動することが大切です。

## プラチナ社会の実現へ

**市民一人ひとりがプラチナのように輝く社会の実現をめざして**

2017(平成29)年、「コフノトリの雲南市」が全国で一躍脚光を浴びました。青空高く優雅に翔るその様子は、市民の誇りであると同時に地産地消の生きものも増やす自然環境が本市に存在することの証でもあります。また、同年4月には、大塚町の市民活動団体「赤川はたる保存会」が環境大臣表彰を受け、ホタルの保全活動が高く評価されました。同年春には雲南市吉田町宇山地区において、地元民間組織による「炭薪電器」が誕生、自然にある資源を有効に使い、エネルギーの地産地消を地で行く取組みに注目が集まっています。少子高齢化社会の真つた中において、多くの課題が山積していますが、ピンチをチャンスとらえ、自然エネルギーや豊かな地域資源を活用して、新たな可能性を求めて活発に動く、その真摯に取り組む人々の構図は、まさに威風凛々たるプラチナのように輝き続ける社会、つまり雲南市そのものなのです。

2018(平成30)年3月 雲南市市民環境部環境政策課 発行  
〒699-1392 鳥取県雲南市大次町東552-1 TEL 0854-40-1033 FAX 0854-40-1039 E-mail kankyouseisaku@city.unshimane.jp

## 3つの基本目標とポイント

本計画は2018(平成30)年度から2027(平成39)年度までの10年間とします。目指す環境像「ときを越え水と緑と人が育むエコシティ・雲南」の実現のため、以下に挙げる基本目標をもとに、市民や事業者と連携しながら進めていきます。

### 基本目標 1

## 安心・安全に暮らす

これからも私たちが安心・安全に暮らすためには、水や大気をきれいに保つことを心がけるだけでなく、ごみを減らした環境にやさしい消費活動をするなど、環境を考えて暮らすことが重要です。

**意識して行動しよう!**

- 水環境の保全**  
生活排水や工業、農業産物排水、河川環境の保全に努めましょう。
- 大気環境の保全**  
自動車や工場などから出る有害物質の対策に努めましょう。
- 廃棄物対策**  
3R運動を推進し、ごみを減らし適切に処理しましょう。
- 環境に配慮した暮らし**  
食を通じて環境に配慮するなど、環境にやさしい消費活動をししましょう。

**地域での取組み事例**

**雲南市の女性の集い**  
「雲南市を明るく住みよいまちにするため、女性の感性を生かし、男女共同参画社会の実現を目指す」ことを目的としています。これまで、ペットボトルのキャップや空き缶のプラスタブのリサイクル、ごみの分別・減量のための替え歌ソングを作って発表などの活動を行っています。

**実践しているソング**

1. ゴミはできるだけ 自分のお家で がんばろう
2. 食事は残さず 食べようね 心がけて 気づけよう
3. 新聞・雑誌・ダンボール リサイクルに出しましょう
4. 何の物は買わないの 詰め替え用品 買いましょ
5. 買った物 入れておきましょう 詰め替え用品 買いましょ
6. 買った物 入れておきましょう 詰め替え用品 買いましょ
7. 使わなくなった 不用品 ほしい人に譲りましょう
8. そうして 再び使おうよ ごみの減量 いたしましょ
9. ラップは 使えなごに 入れないで ラップラップで ためよう
10. それでプラスチックの日に 出さう 正しい分別 心がけよう ごみの減量 いたしましょ

### 基本目標 2

## 自然と共に生きる

私たちが暮らす雲南市は、自然豊かで美しい環境を有しています。この美しい環境を維持していくためには、生きものや自然環境とともに生きていくことを意識し、その保存と活用に努めていくことが重要です。

**意識して行動しよう!**

- 生きものの保全**  
コフノトリやホタルの保護に努めるなど、生態系の保全に努めましょう。
- 自然環境の保全・活用**  
森林や農地、水辺などの保全・活用に努めましょう。
- 環境美化に参加するなど、まちをきれいにしよう努めましょう。**
- 環境緑化**  
建物周辺や空き地に木や花を植えるなど、環境緑化に努めましょう。
- 景観の保全・創造**  
空き家や空き地などを適切に管理・活用し、美しい景観の保全に努めましょう。

**地域での取組み事例**

**赤川はたる保存会**  
「ホタルは自然環境のバロメーターである」という思いから、1983(昭和58)年に結成され、以来、ホタルの保護、普及啓発活動を続けており、観光客の呼び込みにもなっています。このような活動が評価され、2017(平成29)年に「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰を受賞しました。

**里山照らし隊**  
高齢化の進む地域で、自然を活用して農村を守ることを目的として、吉田町民谷の手を借りて発足しました。自主活動として、「炭薪電器」の製造とその活用があります。「炭薪電器」は森林資源を材料として作ることができ、中山間地域におけるエネルギーの自給自足と新たな可能性を秘めた技術です。

### 基本目標 3

## 環境から地域課題を解決する

環境を良くしていくためには、地域資源をうまく活用して新たな商品やサービスを提供したり、観光客を呼び込むなど、環境を切り口として経済・社会問題の解決に繋がる活動を実践していくことが重要です。同時に、そのような活動を知り、参加するなど環境学習に努めることも重要です。

**意識して行動しよう!**

- 地球温暖化対策**  
省資源・省エネなど、省資源・省エネなど、省資源・省エネなど、省資源・省エネなどに努めましょう。
- 再生可能エネルギーとエネルギーの地産地消**  
太陽光発電や木質バイオマスなどにより、エネルギーの地産地消に努めましょう。
- 環境保全と社会・経済発展の好循環**  
エコリズムや地域資源を活かした地域活動に取り組みましょう。
- 環境保全活動と環境学習**  
環境保全活動や環境イベントに参加するなど、環境学習に努めましょう。
- 環境情報**  
環境に関する情報を入力するよう努めましょう。

**地域での取組み事例**

**里山照らし隊**  
高齢化の進む地域で、自然を活用して農村を守ることを目的として、吉田町民谷の手を借りて発足しました。自主活動として、「炭薪電器」の製造とその活用があります。「炭薪電器」は森林資源を材料として作ることができ、中山間地域におけるエネルギーの自給自足と新たな可能性を秘めた技術です。

### 現況と目標値

本計画の進捗状況を確認するため、目標値を設定しており、以下の項目は一部抜粋です。その他の項目等、詳しくは計画書(HPで閲覧できます)をご覧ください。進捗状況は市のHP等で公開します。

**自然環境が守られていると感じる市民の割合**

2016年(平成28年) **75.0%** → 2027年(平成39年) **80.0%**

**自然環境・景観の保全のために何らかの取組みをしている市民の割合**

2016年(平成28年) **54.0%** → 2027年(平成39年) **65.0%**

**一人1日あたり排出量**

2016年(平成28年) **705g/人/日** (国産)

2019年(平成31年) **646g/人/日** (国産)

**リサイクル率**

2016年(平成28年) **53.6%**

2019年(平成31年) **56.0%**